

■ 工事によるお客さまへのご迷惑を最小限とするための取り組み

1. 工事規制計画の工夫

(1) 工事期間の設定

工事期間を設定するにあたり、交通への影響の大きい他の工事や交通量が増加する年末年始と重複しない実施期間を設定させていただきました。

(2) 規制方法による工夫

本工事では、3車線の道路幅に横断的に設置されている伸縮装置を取替えるため、一般的な工事の実施方法では昼夜を通してご利用いただける車線数を3車線から1車線とする必要がありますが、交通量の多い時間帯は2車線ご利用いただけるよう、工事の実施方法と交通規制の方法を工夫しています。工事期間中は走行する車線の幅が狭くなっていますので、十分注意してご走行いただきますようお願いいたします。

なお、作業の内容によって、交通量の少なくなる22時から翌6時までに限り、やむを得ず車線数が1車線となる日があります。



(3) 工事の集約による交通規制回数の抑制の工夫

本工事と併せて道路の維持修繕作業や点検業務を実施することで工事を集約し、交通規制回数を削減できるよう工夫しています。

(4) 交通規制に伴う交通情報（渋滞予測・最新の所要時間情報など）の提供

交通規制に伴う渋滞予測および交通規制区間の最新の所要時間、迂回ルートなどの周辺道路の最新の所要時間などを工事専用WEBサイトでご案内いたします。

ご利用されるお客さまは、お出かけ前に工事専用WEBサイトの情報をご確認のうえ、G2 名二環・E23 東名阪道または一般道への迂回やお出かけ時間の変更などをご検討いただき、余裕を持ってお出かけいただきますようお願いいたします。

また高速道路をご利用のお客さまへ迂回ルートの分岐部で最新の所要時間のご案内をいたします。走行ルートの検討にご活用ください。

2. お出かけ前のお客さまへの情報提供の強化

お出かけ前に工事区間の高速道路状況をご確認いただくために、伊勢湾岸道昼夜連続・車線規制工事専用 WEB サイトにおいて、最新の工事規制および工事状況について情報提供させていただきます。工事期間中は、夕方から夜間を中心に渋滞が予想されますので、お出かけ前に伊勢湾岸道工事専用 WEB サイト・ポスター・リーフレットなどの情報を参考にいただき、C2 名二環・E23 東名阪道、または一般道への迂回やお出かけ時間の変更などをご検討いただき、余裕を持ってお出かけいただきますようお願いいたします。

〈工事専用 WEB サイトにおける主な情報提供の内容〉

(1) 工事期間中の渋滞予測のご提供

① 渋滞予測カレンダーのご提供

工事期間中に予測されている渋滞情報をカレンダー形式でご提供させていただきます。なお、最新の渋滞予測は専用 WEB サイトで随時更新してまいります。

② 時間帯別の渋滞予測のご提供

工事規制の実施に伴い、迂回やお出かけ時間の変更をご検討いただけるお客さまへの情報として渋滞が予測される日の時間帯別の渋滞予測をご提供させていただきます。なお、最新の渋滞予測は専用 WEB サイトで随時更新してまいります。

(2) 最新の所要時間のご提供

走行ルートを選択やお出かけ時間の変更をご検討をしていただけるよう、最新の所要時間情報をご提供させていただきます。

① 最新の所要時間検索（ルート検索）

出発 IC と到着 IC を入力していただきますと、最新の所要時間をご確認いただけます。

（所要時間検索画面イメージ）



※所要時間は、交通状況の変化などにより実際の所要時間とは異なる場合があります。

② 工事区間周辺および広域迂回ルート最新の所要時間

交通規制区間周辺および広域迂回ルート最新の所要時間をご確認いただけます。

(広域の所要時間ご案内イメージ)



③ 迂回ルート

高速道路、一般道の迂回ルートをご案内しております。

④ 渋滞予測

工事期間中に予測されている渋滞予測日・時間帯を工事専用 WEB サイトでご案内いたします。

(3) 主な迂回ルートのご案内

夕方から夜間を中心に渋滞が予想されますので、迂回ルートの走行をご検討いただけるよう主な迂回ルートをご提供させていただきます。

3. 高速道路をご走行されているお客さまへの情報提供の強化

迂回ルート分岐手前での情報強化

工事期間中は、高速道路を走行するお客さまへ情報提供をおこなうため、迂回ルートへの分岐点手前には仮設情報板を設置し、渋滞時には東名阪や名二環、一般道等の迂回ルートを表示します。走行ルートをご検討される際にご活用ください。

(迂回ルートへの分岐部手前の仮設情報板の表示イメージ)



■ 安全に高速道路をご利用いただくための取り組み

1. 工事規制箇所や渋滞末尾での追突事故の防止

渋滞末尾警戒車の配置

工事規制箇所や渋滞末尾での追突事故を防ぐため、渋滞状況に応じて、適切なポイントとタイミングで注意喚起をおこなうために、工事規制箇所の手前もしくは渋滞末尾付近の路肩に標識車を配置させていただきます。

(渋滞末尾警戒車の配置例)



事故発生時の早急な対応

きめ細かな情報提供とお客さまの安全のために交通規制区間に設置した渋滞予測機器を活用し、24時間体制で道路状況を監視するとともに、特設情報板や渋滞末尾警戒車でお客様へリアルタイムの情報をお知らせいたします。

(24時間監視の実施例)

